

## 《訃報》

### 篠崎信男元人口問題研究所長の逝去

元人口問題研究所長篠崎信男氏には、平成10年4月16日午後8時、心不全のため東京武蔵野市日本赤十字病院において逝去された。享年83歳であった。謹んでご冥福を祈る。

氏は、昭和18年6月、当時の厚生省研究所人口民族部に奉職し、昭和57年7月に所長職を辞するまで、39年に及ぶ長きにわたり、人口問題の研究に専念せられ、多大な業績を残された。また、同氏は後進の育成指導に熱心に取り組み、その温厚、誠実な中に強い意思を合わせもつ人柄により周囲の信頼は厚かった。

氏は昭和16年に東京帝国大学理学部人類学科を卒業後、上述のとおり厚生省研究所人口民族部に奉職し、当時の激動する人口問題に取り組み、とりわけ戦後家族計画の推進に尽力せられたことはよく知られるところである。また出産力調査等の実施を指揮したのをはじめ、人口問題研究所の調査研究に数多くの業績を残した。昭和51年所長として所務を掌理することとなってからは、研究所の運営管理、調査研究の統括、指導、所員の教育指導に精力的に尽力せられた。また、そのかたわら人口問題審議会、統計審議会、医療審議会、栄養審議会、海外移住審議会等の各委員に任ぜられ、広範な分野にわたって独自の視点から多大なる貢献を行った。さらに、国際連合人口委員会日本政府代表として活躍するなど国際分野における功績も大きかった。

学界においては、まず日本人口学会においてその発展に果たした役割は大きく、昭和41年以降は理事、常任理事と務められた後、昭和57年6月からは2年間にわたって会長を務められた。また、日本人類学会においても昭和44年と昭和52年にそれぞれ3年間評議員を務められ、また人口動態学研究会では代表を務められた。民間の活動においても、社団法人家族計画連盟常任理事、財団法人人口問題研究会理事長を務めたのをはじめ、数々の活動において常に指導的立場に身をおかれた。

昭和59年11月には、これらの数々の功績により勲二等瑞宝章を叙勲している。さらに本年5月には、生前の功績により正四位に叙せられた。

#### 略 歴

- 大正3年6月21日 東京都豊島区巣鴨生
- 昭和13年12月 東京帝国大学理学部数学科を経て人類学科へ転科、同16年12月卒業
- 昭和17年1月1日 東京帝国大学理学部人類学科助手
- 昭和18年6月10日 厚生省研究所人口民族部研究員
- 昭和21年1月30日 財団法人人口問題研究会幹事（至 昭和37年4月1日）
- 昭和21年5月1日 人口問題研究所調査部第四科研究員、厚生技官
- 昭和22年4月1日 同調査部第四科長
- 昭和29年6月30日 厚生省共済組合運営審議会委員
- 昭和35年4月1日 人口問題研究所研究部第四科長
- 昭和35年10月1日 社団法人日本家族計画連盟常任理事（至 平成10年4月16日）
- 昭和36年6月30日 理学博士学位授与（東京大学）
- 昭和37年2月1日 人口問題研究所研究部第一科長
- 昭和37年4月1日 財団法人人口問題研究会理事（至 昭和49年5月14日）
- 昭和38年2月8日～同月18日 第7回国際家族計画会議出席のためシンガポール出張
- 昭和38年4月1日 人口問題研究所人口資質部長
- 昭和38年6月14日 中央児童福祉審議会臨時委員に併任

昭和39年2月3日 社団法人母子保健センター連合会理事（至 平成8年6月26日）  
 昭和39年3月8日～同月18日 パキスタン人口震動に関する全国セミナー出席のためパキスタン出張  
 昭和39年5月11日～同月16日 国際家族計画連盟西太平洋地域会議並びにセミナー出席のため香港出張  
 昭和40年1月1日 厚生大臣表彰（勤続20年）  
 昭和40年4月12日 人口問題審議会専門員に併任  
 昭和41年5月13日 日本人口学会理事（至 昭和49年5月16日）  
 昭和42年10月18日～同月27日 沖縄における家族計画及び母子衛生に関する指導のため沖縄出張  
 昭和43年10月14日～同月17日 調査のため韓国出張  
 昭和44年10月1日 日本人類学会評議員（至 昭和47年9月30日）  
 昭和45年11月1日～同月15日 調査のためフィリピン出張  
 昭和46年9月27日～10月2日 調査のため香港出張  
 昭和47年2月29日 財団法人日本性教育協会理事（至 昭和54年4月1日）  
 昭和47年9月27日～10月2日 調査のため香港出張  
 昭和47年6月17日～同月27日 調査のためフランス並びにタイ国出張  
 昭和47年6月30日 青少年問題審議会専門委員に任命（内閣総理大臣）  
 昭和48年3月27日 社団法人勤労厚生協会理事（至 昭和58年5月30日）  
 昭和48年4月1日～同月8日 エカフェ家族計画に関する研究者会議出席のためタイ国出張  
 昭和49年1月11日 厚生大臣表彰（勤続30年）  
 昭和49年2月10日～同月24日 人口開発、保健動向のWHO会議、人口資料収集のためペルー、並びにブラジル出張  
 昭和49年5月14日 財団法人人口問題研究会常任理事（至 昭和58年5月14日）  
 昭和49年5月16日 日本人口学会常任理事（至 昭和57年6月4日）  
 昭和49年6月5日 人口問題研究所人口政策部長  
 昭和50年1月25日～2月7日 人口問題に関する調査のためインド、タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア、フィリピン出張  
 昭和51年5月11日 人口問題研究所長、指定職  
 昭和51年5月25日 人口問題審議会委員に併任、医療審議会委員に併任  
 昭和51年5月26日 栄養審議会委員に併任  
 昭和51年6月1日 国立遺伝学研究所評議会評議員に任命（文部大臣）  
 昭和51年6月2日 統計審議会委員に任命（内閣総理大臣）  
 昭和51年7月5日 海外移住審議会委員に任命（内閣総理大臣）  
 昭和51年7月19日 厚生統計協議会委員に併任  
 昭和51年8月19日 医療審議会委員に併任  
 昭和51年10月28日 統計審議会委員に任命（内閣総理大臣）  
 昭和52年1月5日 国際連合人口委員会委員たる日本代表を委嘱（外務大臣）  
 昭和52年1月6日 外務事務官（国際連合局）に併任（外務大臣）  
 昭和52年6月1日 国立遺伝学研究所評議会評議員に任命（文部大臣）  
 昭和52年10月1日 日本人類学会評議員（至 昭和55年9月30日）  
 昭和53年3月9日 厚生統計協議会委員に併任  
 昭和53年5月25日 人口問題審議会委員に併任  
 昭和53年10月28日 統計審議会委員に任命（内閣総理大臣）

昭和53年1月28日 外務事務官（国際連合局）に併任（外務大臣）  
 昭和54年1月28日～2月11日 第20回国連人口委員会に日本代表として出席するため米国出張  
 昭和54年4月1日 財団法人日本性教育協会常任理事（至平成4年3月31日）  
 昭和54年6月1日 国立遺伝学研究所評議会評議員に任命（文部大臣）  
 昭和55年2月8日～同月13日 人口問題に関する調査のため米国（サイパン）出張  
 昭和55年2月29日 海外移住審議会委員に任命（内閣総理大臣）  
 昭和55年3月2日～同月13日 人口問題に関する調査のためタイ、マレーシア、インドネシア出張  
 昭和55年3月12日 厚生統計協議会委員に併任  
 昭和55年5月25日 人口問題審議会委員に併任  
 昭和55年6月5日 講師（国士舘大学人口研究）に併任（国士舘大学総長）  
 昭和55年10月28日 統計審議会委員に任命（内閣総理大臣）  
 昭和56年1月25日 外務事務官（国際連合局）に併任（外務大臣）  
 昭和56年1月25日～2月6日 第21回国連人口委員会に日本代表として出席するため米国出張  
 昭和56年6月1日 国立遺伝学研究所評議会評議員に任命（文部大臣）  
 昭和56年12月8日～同月17日 第19回国際人口学会総会に出席するためフィリピン出張  
 昭和57年3月10日 海外移住審議会委員に任命（内閣総理大臣）  
 昭和57年5月17日 厚生統計協議会委員に併任  
 昭和57年6月4日 日本人口学会会長（至昭和59年6月1日）  
 昭和57年7月1日 人口問題研究所を退職、同顧問に委嘱  
 昭和58年1月20日 人口問題審議会委員に委嘱  
 昭和58年5月14日 財団法人人口問題研究会理事長（至昭和60年8月25日）  
 昭和58年5月30日 社団法人勤労厚生協会理事長（至昭和61年5月29日）  
 昭和59年11月3日 勲二等瑞宝章  
 昭和60年5月10日 財団法人日本チャリティー協会理事（至平成10年4月16日）  
 昭和60年10月21日 人口問題審議会委員に委嘱  
 平成10年4月16日 正四位叙位

## 主 要 著 作 目 録

### I 人口問題研究所刊行物

#### 1 『人口問題研究』

標 題	巻号	(刊行年月) : ページ
民族混血の研究（調査研究）	4-9	(1941. 9) : 12-24
産児制限実態調査結果の概要（第1次報告）（調査研究）	5-10・11・12	(1948. 4) : 16-32
アメリカ人口問題資料（二）其の三、人口生物学的諸問題（資料）	6-2	(1950. 9) : 22-56
血族結婚部落の優生学的調査概報（第1報）－新潟・長野県境「秋山郷」調査－（調査研究）	7-1	(1951. 5) : 105-114
血族結婚部落の優生学的調査概報（第2報）－千葉県安房郡七浦村、豊房村調査－（調査研究）	7-2	(1951. 9) : 52-66
東北、関東、中国地方の農山漁村に於ける産児調節実態調査結果報告－宮城、岩手、青森、埼玉、岡山県下、一町三四ヶ村について－（調査研究）	7-3	(1951.12) : 31-48

昭和24, 25年度産児調節実態調査結果の概報 (資料)	7-4	(1952. 3) : 46-49
東京近郊市町村の産児調説普及の実状—地域的性格の分析— (調査研究)	8-3・4	(1953. 2) : 30-52
結婚年齢別にみた差別妊娠力の統計的分析 (調査研究)	72	(1958. 5) : 1-17
人工妊娠中絶と不妊手術の実態的研究—和歌山県下における面接調査結果の統計的分析— (調査研究)	74	(1958.12) : 37-62
血族結婚部落に関する生体人類学的研究(1) (調査研究)	83	(1961. 7) : 31-70
血族結婚部落に関する生体人類学的研究(2) (調査研究)	84	(1961.12) : 1-79
「第7回国際家族計画会議」概況報告 (資料)	87	(1963. 3) : 25-43
世代別血縁関係に関する一考察—大工場従業員における研究— (調査研究)	89	(1963.11) : 15-29
国際家族計画連盟西太平洋地域会議 (雑報)	91	(1964. 6) : 73-74
パキスタンの人口震動に関する全国セミナー (雑報)	91	(1964. 6) : 71-73
人口資質理論の追求—人間観問題を中心として— (調査研究)	93	(1965. 1) : 1-18
人口資質問題をめぐる生活人類学的展望 (調査研究)	98	(1966. 4) : 39-50
国際家族計画連盟1968年西太平洋地域会議 (雑報)	109	(1969. 1) : 70-71
日本人口の構造と変動—上— III. 死亡 3. 死因別死亡の特徴 (調査研究)	100	(1967. 1) : 96-108
T・ビエリッキー, Z・ウエロン, 「ポーランド WROCLAW の8~12歳児童における親子身長的相关」, その他6論文, 『ヒューマン・バイオロジー (Human Biology)』38-3 書評)	102	(1967. 4) : 60
農村における中高年の労働力資質問題—典型的事例研究による考察— (調査研究)	104	(1967.10) : 1-14
人口資質の現状と人口問題 (特集 日本の人口問題) (調査研究)	106	(1968. 4) : 30-43
人口活動における社会科学の役割に関する国際シンポジウム (雑報)	123	(1972. 7) : 67-69
人口問題意識と人類働態論 (調査研究)	126	(1973. 4) : 1-14
エカフェ地域における家族計画プログラム評価のためのサービス統計システムの比較研究に関する研究者会議 (雑報)	127	(1973. 7) : 65-66
昭和47年第6次出産力調査報告 (その12) 通婚圏問題と人口政策 (調査研究)	130	(1974. 4) : 46-52
人類学的視野からの人口政策論議 (調査研究)	138	(1976. 4) : 1-12
世界人口会議後の世界の人口動向問題—関連資料をめぐって— (調査研究)	142	(1977. 4) : 1-15
第19回国際連合人口委員会 (雑報)	142	(1977. 4) : 58
地域人口から見た老人問題 (調査研究)	148	(1978.10) : 1-23
第20回国連人口委員会の概況 (資料)	150	(1979. 4) : 70-77
日本の人口動向 I 日本人口の成長 3 日本人口の質的変貌 (調査研究)	152	(1979.10) : 17-26
日本の人口動向まえがき (調査研究)	152	(1979.10) : 1-2
日本の人口動向 VII 人口と資質 1 人口の優生学的諸問題 (調査研究)	153	(1980. 1) : 56-62

人口資質論－日本人口の資質と環境問題の所在（調査研究）	154	(1980. 4) : 1-5
「第21回国際連合人口委員会」の概況（資料）	158	(1981. 4) : 77-83
人口問題理念の研究（調査研究）	163	(1982. 7) : 1-26

「書評」

地球文化研究書『未来学原論－21世紀の地球との対話－』 文化建設会, 1968（書評）（1968）	128	(1973.10) : 57
Zubrow, Ezra. W. (ED.), Demographic Anthropology, Quantitative Approaches./UNIVERSITY OF NEWMEXICO PRESS, 1976（書評）	145	(1978. 1) : 62

2 『人口問題研究所年報』

標 題	巻号	(刊行年月) : ページ
家族計画10年の実態推移とその分析	1号 昭和31年度	(1956.10) : 56-62, 95
血族結婚部落人に関する生体人類学的研究－山梨県南巨 摩郡西山村奈良田部落調査－	2号 昭和32年度	(1957. 8) : 13-16, 67
アジアにおける種族の身長、頭型について	3号 昭和33年度	(1958. 8) : 64-70, 85- 86
血族結婚部落の血族濃度の系譜的研究	4号 昭和34年度	(1959.10) : 57-62, 89- 90
血族結婚部落民の体形、体力の変動について－同一人同 一場所における変動－	5号 昭和35年度	(1961. 1) : 109-114
人口資質に関する諸問題	6号 昭和36年度	(1961.11) : 71-76, 91- 92
民族活力問題の追求：人口哲学への接近のための思索的 試論	7号 昭和37年度	(1962. 9) : 5-8, 88-89
科学の第1原理の史的推移－民族活力問題追求と人口哲 学接近のために－	8号 昭和38年度	(1963.11) : 12-15, 87- 88
相対性原理と哲学的背景－人口資質理論形成のために－	9号 昭和39年度	(1964.12) : 92-96, 115
Neo-vital Index 試論－人口資質係数構成の探求－	10号 昭和40年度	(1965.10) : 46-49, 97- 98
3 大産業従事者の形質と労働状況	11号 昭和41年度	(1966.11) : 59-62, 89- 90
通婚圏に関する一考察	12号 昭和42年度	(1967.10) : 48-52, 93- 94
人口資質と優生問題	13号 昭和43年度	(1968.12) : 57-60, 89- 90
世界人口と栄養問題－統計数字からの展望－	14号 昭和44年度	(1969.10) : 73-81, 97
人口資質に関する年齢別考察と問題点－社会心理的側面 を中心として－	15号 昭和45年度	(1970.12) : 55-58, 80- 81
人口資質とエコシステム	16号 昭和46年度	(1971.12) : 63-66, 104
人口資質の要因別研究－教育程度と性格－	17号 昭和47年度	(1972.12) : 56-59, 91- 92
未来人口と人口政策論	18号 昭和48年度	(1973.12) : 5-9, 79-80

人口政策論議のメモー昭和2年の人口問題論を中心とし てー	19号 昭和49年度	(1975. 3) : 7-10, 62
人口問題研究の反省と前提ー人類学的見解よりの発言ー	20号 昭和50年度	(1976. 3) : 4-6, 58
日本の人口問題対策への展望ー将来推計人口をめぐる てー	21号 昭和51年度	(1977. 1) : 1-4, 63
人口問題. 今後の課題	22号 昭和52年度	(1978. 1) : 1-3, 67

### 3 「研究資料」

標 題	資料No.	(刊行年月)
公衆衛生に於ける戦後養成問題	5	(1946. 9)
最近アメリカに於ける人類學的研究の動向とその概念についての摘要原著 The Science of Man in THE World Crisis. [BY] Ralph Linton	8	(1946.11)
カール・サックスによる世界人口問題に関する概論 (Population Problems [BY] Karl Sax)	12	(1947. 3)
産児制限實態調査結果の概報	21	(1947.10)
アメリカ人口問題資料その2 (國家資源調査局人口問題委員會報告「ゼ・ プロブレム・オブ・チェンジング・ポピュレーション」第6章	23	(1947.12)
アメリカ人口問題資料その3	24	(1947. 9)
日本人の熱帯移住適性に関する資料(1)ー移民問題参考資料その3ー	31	(1948. 4)
産制及に移民問題を中心とするタムソン博士の発言とその反響	38	(1949. 3)
諸外國における産児制限の普及状況	39	(1949. 6)
妊娠中絶(墮胎死流産)の割合に関する資料	44	(1949. 7)
純農村及び漁村における産児制限の実態に関する1資料ー宮城県本吉郡大 島村及び登米郡北方村における実態調査結果の中間報告ー	53	(1949. 9)
産児制限の効果についてーニューヨーク市のー婦人群を対象とするステイ ツクス及びノートシユタインの研究ー	62	(1950. 8)
墮胎と公衆衛生ーR・Kスティックス及びD・Gウィールの研究ー	64	(1950. 8)
東北3縣における産児制限實態調査票未提出者の未提出理由及び調査に對 する意見の實状について	73	(1951.12)
和歌山縣下における産児制限實態調査結果の概要	74	(1951.12)
避妊の實行不實行者別にみた死流産率に關する1資料ー群馬, 和歌山, 岡 山, 香川, 鹿児島5縣下における出産歴調査からの特殊集計	75	(1951.12)
縣別及び都市町村別産児調節實態調査集計結果表ー昭和24・25年度全國17 縣於る調査ー	76	(1952. 2)
月経週期別成熟期間別妊娠力に関する集計結果	79	(1952.10)
青ヶ島調査の概報	100	(1955. 1)
血統結婚部落の優生学的調査ー山梨県南巨摩郡西山村奈良田部落調査(昭 和18年)の調査報告ー	102	(1955. 2)
差別妊娠力の統計的分析研究ー典型的な高出生村(青森県東津軽郡荒川村) と低出生村(奈良県磯城郡朝倉村)との比較研究ー	112	(1956. 1)
家族計画を中心とする新生活態度の實地指導研究結果の概要ー日本鋼管に おける実例ー	129	(1958.11)
昭和47年 第6次出産力調査結果の要点	200	(1973. 4)
性教育問題	223	(1981. 6)
コスティツィン著 生物数理論 [Kostitzin, V. A. ; Biologie Mathematique]	224	(1981. 6)

#### 4 「実施調査報告資料」

標 題	資料No.	(刊行年月)
都市および農村における家族構成と就業形態の変化に関する調査報告 第2分冊 昭和44年度実地調査	昭和44年度	(1970. 3)
非農林就業人口実態調査報告 概報 主要結果表 昭和45年度実地調査	昭和45年度	(1971. 3)
第6次出産力調査報告(その1) 概報および主要結果表 昭和47年度実地調査	昭和47年度	(1973. 3)

#### 5 その他

##### 「海外参考資料」

キンゼー博士による性的振舞態度における正常, 異常の概念-「健康と疾病における性心理の発達」より抜萃抄録-	第5号	(1953. 5)
---	-----	-----------

##### 「部内研究資料」

人間に向いて発する人間の問-人類実存哲学への接近-		(1956. 6)
「人類働態学入門」とA. ソービィ「ゼロ成長?」について		(1977. 1)

人口資質統計資料集 第1分冊 1 総括 2 出生		(1964.10)
人口資質統計資料集 第10分冊 16 犯罪非行		(1966. 3)
人口資質統計資料集 第3分冊 6 死亡		(1967.12)

##### [English Pamphlet Series]

Eugenic of Study, A Village Featured by Consanguineous Marriage : A Report of Survey in 1943 at Narata, Nishiyama-mura, Minami-Koma-gun, Yamanashi Prefecture in Japan	No.38	1955
Report on Sexual Life of Japanese	No.45	1957
The Actual State of Spread of Birth-control in Suburbs of Tokyo. - to Analyse the Conditions of It -	No.44	
Philosophical Research for the Theory of Population Quality : New Attempt and Approach to Population Philosophy around the Vision of Human Idea from the View-point of Anthropology	No.60	1965
Population Problems in Japan : Historical and Cultural Approaches		1980

## II 人口問題研究所以外の刊行物

### 1 公刊図書

標 題	叢書・シリーズ(編集者)	発行所	(刊行年月)
『現下の人口問題-日本の人口及び人口問題-上巻』	人口問題叢書第1集(厚生省人口問題研究所編)	国民教育社	(1949. 8)
『日本人の性生活 [3版]』著		文芸出版	(1953.11)
『産児調節と夫婦性生活の実態 附 優生保護法』		村松書店	(1949.11)
『人口問題の現状と将来』	日本の科学者2巻3号	日本科学者会議	(1967.12)
『新生活の心がまえ』	人口問題資料第62号(人口問題研究会編)	人口問題研究会, 新生活運動協会	(1961.11)

『新生活の転機』	人口問題資料第77号(人口問題研究会編)	人口問題研究会, 新生活運動協会	(1967.11)
『生活設計のてびき』	人口問題資料第61号(人口問題研究会編)	人口問題研究会, 新生活運動協会	(1961. 3)
『新生活の指導』	人口問題資料第67号(人口問題研究会編)	人口問題研究会, 新生活運動協会	(1963. 1)
『主婦と新生活』	人口問題資料第63号(人口問題研究会編)	人口問題研究会, 新生活運動協会	(1962. 1)
『人口の資質に関する主要統計摘要』	人口問題資料第60号(人口問題研究会編)	人口問題研究会, 新生活運動協会	(1960. 6)
『人口問題研究会50年略史』	人口情報昭和57年度(人口問題研究会編)	人口問題研究会	(1983)
『子供をめぐる家族生活報告書 [昭和57年2月10日]』		人口問題研究会	(1982. 2)
『世界の人口』		人口問題研究会	(1985. 5)
『性の危機』		結婚生活社	(1970)
『母性意識形成の構造的分析—人口資質問題の一環として—』		大東学園	(1978. 6)
『人類働態学入門』		同友館	(1972.10)
『世にも不思議な体験物語—大往生への道』		共栄書房	(1983. 9)
『未来人口問題研究論』		国士舘大学大学院紀要会	(1984. 3)
『青年への遺言』	「人類シリーズ」第一弾	高齢者生活文化協会	
『時事問題への見解提言』	「人類シリーズ」第二弾	高齢者生活文化協会	
『21世紀への挑戦』	「人類シリーズ」第三弾	高齢者生活文化協会	
『これからの地球これからの日本』	「人類シリーズ」第四弾	高齢者生活文化協会	
『性文化技能への建て直し改革』	「人類シリーズ」第五弾	高齢者生活文化協会	
『人類哲学と人類伝言』	「人類シリーズ」第六弾	高齢者生活文化協会	
『人類世紀への道(高齢社会をどう生きるか)』	「人類シリーズ」第七弾	高齢者生活文化協会	
『人類新化への道』	「人類シリーズ」第八弾	高齢者生活文化協会	
『人類福祉への道』	「人類シリーズ」第九弾	高齢者生活文化協会	
『神権, 生命権, 人権等をめぐっての私論』	「人類シリーズ」第十弾	高齢者生活文化協会	
『生態と性態』	「人類シリーズ」第十一弾	高齢者生活文化協会	
『「身辺雑語」存在意義と存在価値』	「人類シリーズ」第十二弾	高齢者生活文化協会	
『「身辺独語」老人生活とは』	「人類シリーズ」第十三弾	高齢者生活文化協会	



『人本主義と0無体 セックス性感情の真底』	「人類シリーズ」第十四弾	高齢者生活文化協会
『人本主義と0無体 (第2段) -サルトル哲学との対比-』	「人類シリーズ」第十五弾	高齢者生活文化協会
『「身辺雑語」第3集 生活集団と0無現象』	「人類シリーズ」第十六弾	高齢者生活文化協会
『サルトル的無と0無体』	「人類シリーズ」第十七弾	高齢者生活文化協会
『老権問題をめぐって』	「人類シリーズ」第十八弾	高齢者生活文化協会
『国際社会と国際問題』	「人類シリーズ」第十九弾	高齢者生活文化協会
『思考哲学と行動力学』	「人類シリーズ」第二十弾	高齢者生活文化協会
『「人類会同」の人々の郷があってもよい』	「人類シリーズ」第二一弾	高齢者生活文化協会
『次の世代への遺産-人類要語録』	「人類シリーズ」第二二弾	高齢者生活文化協会
『20世紀の人類演出とは何か-何の為に人類は生きてきたのか』	「人類シリーズ」第二三弾	高齢者生活文化協会

#### 1 公刊図書収録論文

「未亡人の実態」	『未亡人』	要書房	(1953)
The New Life Movement Through Enterprises in Japan [with Aoki, H., & Kuroda, T.]		Foundation-Institute for Research of Population Problems	(1965. 2)
The New Life Movement Through Enterprises in Japan [with Aoki, H., & Kuroda, T.]		Foundation-Institute for Research of Population Problems	(1965. 2)
Inbreeding in Japan: Results of Nations-Wide Study [with Imaizumi, Y., & Aoki, H.]	Japanese Journal of Human Genetic, Vol. 20 No. 2		(1975)